

口絵

1

はじめに 「カフェー」なるもの

カフエとカフエー 22 時代の同伴者 24 「カフェー」という語の定着 26

21

第一章 京都にカフェーが現れるまで

森鷗外の欧州留学 32 芸術運動の場 35 京都の近代化 38

31

繁華街の喫茶部／文教地区のミルクホール 46

第二章 初期の京都のカフェー

ハイカラな女給仕 55 三高生のたまり場・カギヤ 59

53

市電とひろがるカフェー 63 制度に抗う原始遊牧民のカフェー 71

第三章 1922年の女給人気投票

新語としての「女給」 78 大正のアイドル総選挙? 80

77

人気女給がいたカフェー 87

第四章 映画・ダンス・カフェー

カフェーレーベンの溝口健二 94 映画都市・京都 97

93

幻の「カフェーローヤル」をたどる 99 映画界とカフェーローヤル 107

【コラム】雑誌『ダンサー』に写された時代——「アケボノ」「ローヤル」を覗く(執筆・永井良和) 112

ダンスホール化するカフェーへの取り締まり 112

120

第五章 ジャズの氾濫と巨大カフェー

大阪—東京の「エロ」をつなぐ京都 122 ジャズ狂化したカフェー 130

121

大阪大資本の到来 141 「エロ」の大波 148

第六章 カフェー時代の終わり

『いき』の構造』の出发点 152 警察の「風俗」取り締まり 157

151

カフェー全盛時代 161 カフェーの退潮、喫茶店の増加 165

カフェーは不純喫茶? 176

第七章 女給のファッションとカフェー建築

白いエプロンのイメージ 184 営業者・美術家・建築家 193

183

主要参考文献一覧 202

用語集 203

あとがき 206